

会議名	第2回厚木市観光振興推進委員会
日時	令和5年10月30日(月)10時から11時まで
場所	あつぎ市民交流プラザ6階 ルーム602
出席者	出席者 11人 厚木市観光振興推進委員会委員8人 オブザーバー1人(一般社団法人厚木市観光協会専務理事兼事務局長) 事務局2人(観光振興課長、観光振興課副主幹)

会議の経過は次のとおり。

- 1 開会 観光振興課長
挨拶 厚木市観光振興推進委員長

2 案件

- (1) 令和5年度事業の実施状況について 議事進行：委員長 説明：事務局
資料1に基づき説明。

【意見等】

委員： あつぎ鮎まつり開催日は、ホテルが満室になった。

あつぎ鮎まつりに期待する声が多いので縮小せずに行って欲しい。

事務局： 来場者が多く、人流がコントロールできない場面があった。

委員長： あつぎ鮎まつり開催時に人流データを導入することになっていたと思うが結果はどうであったか。

事務局： 結果については、実際の感覚とはズレがあるように感じた。

小田急電鉄株式会社に御協力いただき、鮎まつり当日の本厚木駅、厚木駅、海老名駅の乗降客数のデータを提供いただいている。

前週との比較で9万人ほど増客していた。

委員長： オーバーツーリズムがいろいろなところで問題になっている。

オーバーツーリズムがあると観光客数を制限することになりがちだが、実態は交通基盤が上手く機能できないことにある。

人流データを使用し観光客が上手く捌ければ厚木の観光キャパシティも上がっていくのではないか。

- (2) 令和6年度事業について 議事進行：委員長 説明：事務局
資料2に基づき説明。

【意見等】

委員： 先ほど外国人向けのパンフレット作成の事業があったが、ホテル協議会で外国人のお客様を集計したところ、一番多かったのがアメリカ系のお客様で、次いで中国、韓国が多かった。

それに対応する言語でのパンフレットを作成し、ビジネスで来た方が次は観光で来ていただけるようにするのが良いのではないかという意見が出た。

委員： 飯山白山森林公園桜の広場周辺整備について、小さい子供が初めて登山するの

は白山が理想的だと思うが、木道の整備をぜひお願いしたい。

委員長： ユニバーサルツーリズムの関係で、観光地のバリアフリー化の進捗状況について把握しているか。

事務局： 特に把握していない。

委員長： 国連世界観光機関でも障がい者に関することが取り上げられている。

障がい者というと身体的なことが思い浮かぶが、一番多い障がい者は高齢者である。

高齢者は増加するし、定年を迎える方が多くなり、時間やお金があるため旅行者も増える。

旅行に行きたいが、観光地に行けないことが出てくる。

バリアフリー化は日本国内における観光需要を喚起するうえで、重要なキーワードになってくるのではないかと思う。

(3) 観光振興に係る意見交換について

委員： 小田急電鉄でもマスコットキャラクター「もころん」がデビューした。

あゆコロちゃんとともに神奈中さんともコラボさせていただき認知度も上げていきたいと考えている。

インバウンドは箱根が強い。

富士山、芦ノ湖、箱根神社観光船の写真が中国人に人気がある。

新宿からロマンスカーで停まらずに箱根まで行ってしまうので、途中で本厚木駅に降りてもらえるようなPRをしたい。

また、本厚木駅は単体の駅で1日の乗客数が10万人を超える唯一の駅で、日本一であることもPRしたい。

委員： 神奈中バスの利用についてはコロナ以前の8割ぐらいに戻ってきている。

働き方改革があり、バスの本数をどう維持していくかが問題である。

小田急電鉄さんともイベントを開催しPRしていきたい。

バスのデザインも3月くらいから変更していく。

委員： ホテル協議会では5市町村周遊ルートに興味があり、ぜひ、厚木に来ていただきたい。

ホテル協議会に加盟しているホテルも8割は稼働しているが、ビジネス客が多い。

観光客の方にも利用していただきたいと思っている。

市のイベント情報は利用しても良いか。

事務局： 厚木市のLINEに不特定多数の来場があるイベントは、積極的に情報を公開するようにしているのでデータなど利用していただきたい。

委員： 観光ボランティアガイド協会ではコロナ禍で活動ができなかったが、今年からハイキング、神社やお寺のガイドをしている。

先日も大山を案内し、来月は宮ヶ瀬にハイキングを予定している。

また、飯山観音を目指す巡礼道など歴史探訪を行っている。

観光ボランティアガイドの協会員が増えず困っているので各方面で御紹介いた

だけたらと思う。

委員： 厚木商工会議所の女性会の話し合いの中では、少しずつお客様が戻ってきている状況である。

女性会でも協力できる場所があれば応援していきたいと考えている。

委員： 今年度はイベントの復活が顕著で、同日にイベントが重なっている。

同時開催なので広報の上手さに差がでているように感じる。

イベント前の告知から当日のSNSへの投稿まで情報発信が充実しているところが少ない。

広報専任の担当者を付けるようにしたほうが良いのではないか。

委員： 夏は暑かったため家にいることが多かった。

花火大会も入場規制があったので迂回ルートを案内された。

久しぶりの開催で誘導の情報共有ができていなかった。

厚木市も自然が多いので川を利用したイベントや告知があったほうが良い。

七沢でもイベント行っているが周知がされていないので幼稚園や学校を通して告知したほうがよいのでは。

オブザーバー： 観光協会での事業は、観光ボランティアガイド協会の御協力をいただきガストロノミーツアーを開催し大変好評であった。

外国人の参加も募集したが応募がなかった。

観光としてのインバウンドは、まだないように感じた。

「あつぎ“鮎×コロ”まつり」も開催し好評であったが、課題としては当日のキャンセルが多く、食材なども発注してしまっている所以对応に苦慮している。キャンセルの取り扱いで参考になるものがあれば御教示いただきたい。

事務局： 市のイベントとして11月11、12日であつぎ国際大道芸が開催されるので御参加いただきたい。

また、「ATSUGI OktoberFest」が厚木中央公園で開催され、5万人の来場者があった。

今まで市のイベントは直営が多いが、これからは民間事業者が厚木でイベントを開催してもらうような形にシフトしなければならないと感じた。

PRもSNSを活用するなど上手で、会場も電飾を多用するなど作り方も大変勉強になった。

また、今後は観光のPR大使を任命し運用したいと庁内で検討している。

委員長： 今年の7月に観光シンポジウムを開催した。

意見交換で様々な問題が浮かんできた。

これを機に定期開催したいと考えている。

教室で観光学を学ぶのも良いが、厚木市を一つのフィールドとして考えることとしたので、学生とコラボできるものがあれば積極的に提案していただきたい。

観光の使われかたとして、観光の前提に平和がある。

そこが強調された結果、ウクライナ問題やハマスでの戦争などと、どう関わっていくかが取り上げられている。

また、地球温暖化も観光を考えて行くうえで重要な課題となっている。

3 その他

次回の会議は2月に予定している。

4 閉 会